

第14回

金融と経済を考える 高校生小論文コンクール



金融広報中央委員会は
全国の高校生・
高等専門学校生等を対象に
「金融と経済を考える」小論文を
募集しています。
みなさんがふだん考えていること、
調べたことなどをまとめて
ご応募ください。

特選5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

秀作5編(賞状と奨学金2万円)

- 佳作50編(賞状と図書カード5千円分)
- 学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)

9月20日
しめきり!!
※消印有効

★ テーマ:自由

テーマは、金融や経済に関することであれば、どのようなものでも構いません。
テーマを考える際の参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から
選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。
テーマを決めた後、作品の内容にふさわしいタイトル(題)をつけてください。

◆テーマの例

1. あなたのライフプランと働くことについて

あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職を付ける、会社で働く、起業するなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

2. 日本のこれからを考える

現在の日本経済には、少子高齢化の進展、労働力人口の減少、政府債務残高の増大、若年層を中心とする雇用問題など、様々な問題があるといわれています。また、新興国の経済力の高まりなどを背景に、海外との関わりも変化しています。これからの日本はどのような経済社会を目指すべきでしょうか。具体的な問題とその克服に向けたアイデアを中心に、あなたの考えをまとめてみてください。

3. 日本経済を活性化する将来有望な産業とは

新エネルギーの利用や、環境に優しいエコ商品、ユニバーサルデザイン、あるいはゲームやアニメなどのコンテンツ産業等、新たな経済活動が活発になってきています。“ゆるキャラ”を伴う地域おこしなど、地方を活性化させようとする動きも全国各地でみられます。あなたが注目する産業について、その特徴をまとめ、将来有望であると考えられる理由を述べてみましょう。

4. 消費者としてのルール

ものを買う、サービスを利用するなど、消費者として行動する際に、あなた自身やあなたの家族で決めているルールはありますか。また、消費者トラブルに巻き込まれないためにどうすればよいと思いますか。なるべく具体的に、ルールを紹介したり、あなたの考えをまとめてみてください。

第14回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生

[賞] ●特選5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 全国公民科・社会科教育研究会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

●秀作5編(賞状と奨学金2万円)

●佳作50編(賞状と図書カード5千円分)

●学校賞(特選受賞者在校校)5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2016年9月20日(火) ※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<http://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

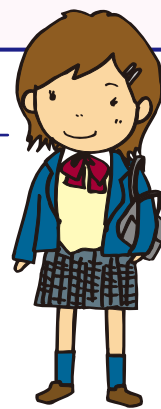
金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って

応募フォームにより送信してください。<http://www.ron2016.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <http://www.ron2016.jp/>



★ 小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。小論文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力を、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

自分の将来のために、いま考えよう!

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。

金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から2,640点の作品が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



第13回 (2015) 受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。
<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/ronbun/>

金融担当大臣賞

地域活性化と経済

愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校 4年
富吉 悠輔さん

作品の内容 筆者は、自分の住む街に数多く残る古建築に興味をもち、より多くの人に知ってほしいと活性化策を練ります。入り組んだ路地を抜けた先の古建築にたどり着くことで味わえるタイムスリップ感を生かしたクイズラリー、Twitterの活用、活性化策のデータベース化で同じ問題を抱える地域同士の連携を図ることなどを提案しています。審査員からは「地域活性化について具体的に提案している」と高く評価を得ました。

受賞者の声 中学時代の総合的な学習や地域行事を通して発見した地元三津浜地区(松山市)の魅力、今回の小論文に地域活性化策としてまとめました。これからも故郷のために何ができるか考えていきたいと思っています。

文部科学大臣賞

直売所と地域経済の発展
大分県 大分東明高等学校 2年
徳丸 実玖さん

作品の内容 筆者は、スーパーの野菜コーナーと直売所での母の購入基準から、消費者ニーズには「安全で新鮮なもの」と「年中いつでも」の二面性があると知ります。「私たちが生きていくために口にする料理は身近な生産者の生活の糧となって」集落経済を支え、環境を守ることも学び、「社会経済の一員としての責任の重さを感じた」といいます。「地域内消費の重要性を語っている」などの点が授賞理由として挙げられました。

受賞者の声 私たちは、多くの商品に囲まれていますが。直売所での母との買い物を通して、消費者が「選ぶ」ことで社会経済を支え、地域、環境を守ることができることを学びました。将来、社会経済の一員として商品が「選ぶ」ことで地域の活性化に貢献したいと思っています。

日本銀行総裁賞

さとうきびで結ぶ島の産業と未来
沖縄県 沖縄県立八重山高等学校 2年
大久 勝利さん

作品の内容 筆者は家業のさとうきび栽培を通して石垣島の様々な産業が助け合って共に発展していけるシステムを構築したいという夢を語っています。農協や市役所での調査を経て、農家は付加価値の高いさとうきび栽培を第1目標にすべきだと考え、搾りかす活用などでコストを下げる可能性に触れています。「実態を調査し、地域経済における実現可能性を考え、利益についても考察している」と非常に高く評価されました。

受賞者の声 今回、石垣島のさとうきびの可能性について知ることができ、将来、自分がどのように地域社会と関わって生きていくべきか考えるきっかけになりました。今回考えたことをもとにもっと深く学び、いつか実現させることができるよう頑張っていきたいです。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

道路と経済の関係について

岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年
木村 誠太郎さん

作品の内容 筆者は、最近開通したバイパスで、青信号になってから次の信号機が赤信号になるまでの時間と信号機間の距離を調査。平均時速18km以上だと赤信号に掛からない調整がしであり、バイパス完成は個人や企業に大きな経済効果をもたらしたといえます。信号システムのような小さな工夫の蓄積で社会経済が成立していることに気づいたと結んでいます。「問題意識が明確で自分でよく調べている」と評価されました。

受賞者の声 この課題を通じて普段はあまり意識することのなかった経済という視点で物事を考えるよききっかけになったと思います。これからも、身近な出来事に目を向けて、日々新たな発見をしていきたいと思っています。

金融広報中央委員会会長賞

女性の労働環境から考える日本経済

岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年
吉元 えりかさん

作品の内容 筆者は、就職活動に苦戦する姉の姿から「女性が子育てしながら仕事を続けられる社会」には何が必要かを考察。海外の少子化対策を例に挙げ、十分な数の保育園整備、不妊治療の経済負担軽減、育児休業を取りやすい環境づくり、幼稚園などを利用した認定子ども園の積極的活用などの対策を早急に検討してほしい、と要望しています。「女性の労働環境について鋭くとらえて考察している」といった点が評価されました。

受賞者の声 働く女性の環境について調べることが、自分の将来に直結する問題でもあり、とても興味深いものでした。これからの日本経済を支えるうえで、女性の力は不可欠といえるでしょう。私もその一員として活躍できるよう努力していきたいと思っています。

秀作

「家を買う」ということ
神奈川県 神奈川県立川和高等学校 1年
青山 莉緒さん

うちの家計は火の車
岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年
小松原 陸さん

「価格『据え置き』」が意味すること
岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年
本田 朱理さん

農業を支える日本経済
栃木県 栃木県立宇都宮白楊高等学校 3年
和久井 瞳さん

圧迫される学び
東京都 東洋女子高等学校 3年
大谷 秋音さん

学校賞

岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校
愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校
大分県 大分東明高等学校
沖縄県 沖縄県立八重山高等学校

第13回
審査員
(敬称略)

天野 晴子(日本女子大学教授) 西村 隆男(横浜国立大学教授) 松島 斉(東京大学大学院教授) 井藤 英樹(金融庁総務企画局政策課長)
矢幅 清司(文部科学省初等中等教育局視学官) 上村 肇(全国公民科・社会科教育研究会会長) 高橋 経一(日本銀行情報サービス局長)
吉國 真一(金融広報中央委員会会長)

